

内閣総理大臣杯争奪 第55回 西日本実業柔道団体対抗大会

報告書



開会式で挨拶する森会長



来賓の徳田耕造尼崎市教育長



選手宣誓をする新日鐵住金の斎藤 俊選手

晴れ渡った空のもと初夏のさわやかな風が吹き渡る5月10日、「内閣総理大臣杯争奪 第55回西日本実業柔道団体対抗大会・尼崎市市制100周年プレ記念大会」は、緑したたるベイコム総合体育馆(尼崎市記念公園)において、男子75、女子8、昨年より7チーム増の合計83チームの参加で開催された。来年、尼崎市が市制100周年を迎えるため、本年の大会はそのプレ記念大会として開催された。また、昨年に引き続き今大会でもインターネット放送を実施し、開会式、第一試合場での全試合、及び閉会式の模様をインターネットサイトの「ユーストリーム」を通じて中継放送を行つた。

9時30分、山本裕洋大会委員長の開会宣言にて開会式が始まり、国歌齊唱、前年度各部優勝チー

旭化成が3年ぶり31回目の優勝

JR九州、連覇3度目の優勝

男子

女子

ムによる優勝杯・優勝旗返還の後、森 詳介大会会長が開会の挨拶を行つた。森会長はその中で、全柔連副会長の山下泰裕氏の著書を引用して、どんな場合でも準備を怠らず、平常心で全力を出し切る山下氏の現役時代の勝負にかける姿勢は、実社会や人生においても通ずるものであり、選手諸君にも柔道で培つた成果を社会に還元することを求められた。引き続き尼崎市関係からの来賓3名様を紹介。来賓挨拶では地元尼崎市を代表して尼崎市教育委員会教育長徳田耕造様から歓迎の言葉を頂戴し、その後、稻村和美尼崎市長からのメッセージが披露された。

選手宣誓は、新日鐵住金柔道部の斎藤 俊二段が堂々と行つた。その後、昨年11月に実施した「ラオス柔道指導事業」の派遣メンバーの一員、三菱レイヨン㈱所属の今田光明氏が、ラオスでの柔道指導体験、成果とこの事業の意義についてスピーチを行い、開会式を終了。引き続き、5試合場に分かれて試合が開始された。



連盟役員（橋田・唐地・松本副会長）



開会式全景

男子第一部

旭化成と新日鐵住金の決勝戦は、
旭化成Aが前半のリードで逃げきり
3年ぶり、31度目の優勝を遂げる

男子第一部は、昨年度優勝の新日鐵住金が一回戦の旭化成Bに対し苦しみながら内容差で辛勝すると、続くダイコロに対しては3対0で完勝し決勝に勝ち上がった。一方、2年連続優勝を逸している実力チーム旭化成は、重量級を配置する旭化成Aが、日本エースサポート、東レ滋賀をいずれも無失点で圧勝し順当に決勝に駒を進めた。

先鋒戦。共に左組み。旭化成Aの増渕、奥えりを引いて新日鐵住金の田中を攻める、守勢に回る田中に対し、連続して指導、ベテランらしうまい試合運びで僅差で競り勝つ。

次鋒戦。ともに左組み。81キロクラスの新日鐵住金・武田に対し、120キロの旭化成A・土屋、体重差を利して終始圧力をかけると、武田もこれをかわしきれず、4回目の指導を受けて反則負け。

中堅戦。2点差を背負った新日鐵住金の赤迫は何かポイントを取り返そうとするも、試合巧者の旭化成Aの穴井にうまくさばかれて、攻めあぐね引分。副将戦。後が無くなつた新日鐵住金、主将の齋藤、体重130キロ、巨漢の上杉に対し、猛然と攻めでるが、受けの強い上杉を崩すまでにはいたらない。結局、両者指導のうちに引分。ここに旭化成Aの優勝が決定する。

大将戦。ともに右組み。業師の新日鐵住金の吉永、25キロ体重差のある旭化成A・百瀬に決め手を与える一方、新日鐵住金は重量級で取り返せなかつたことが悔やまる。

[準決勝 第1試合]

新日鐵住金	3	-	0	ダイコロ
(先鋒)	谷井 大輝	3段	○ 裂 繁 固	谷本 義人 4段
(次鋒)	小野 勇輝	3段	○ 内 股	上原 滌行 3段
(中堅)	齋藤 俊	3段	引 分	土井 健史 3段
(副将)	吉永 慎也	5段	引 分	平井 泰輔 2段
(大将)	赤迫 健太	3段	● 僅 差	金子 博史 4段

[準決勝 第2試合]

旭化成 A	3	-	0	九州電力
(先鋒)	穴井 航史	3段	引 分	山本 泰三 4段
(次鋒)	上杉 亮太	4段	引 分	森 俊介 5段
(中堅)	土屋 潤	4段	○ 横四方固	川波慎太郎 5段
(副将)	増渕 樹	5段	○ 内 股	帆高 純平 3段
(大将)	百瀬 優	4段	● 僅 差	七戸 虎 2段

[決勝戦]

新日鐵住金	0	-	2	旭化成A
(先鋒)	田中 大貴	3段	僅 差	● 増渕 樹 5段
(次鋒)	武田 茂之	3段	反則負	○ 土屋 潤 4段
(中堅)	赤迫 健太	3段	引 分	穴井 航史 3段
(副将)	齋藤 俊	3段	引 分	上杉 亮太 4段
(大将)	吉永 慎也	5段	引 分	百瀬 優 4段



先鋒戦 旭化成A・増渕選手が僅差勝ち



中堅戦 新日鐵住金・齋藤 俊選手、猛然と反撃



男子一部優勝の旭化成Aチーム

女子の部

JR九州A昨年に引き続き日本エースサポートを下し、連覇を果たし3度目の優勝。

決勝は、昨年に引き続きJR九州と日本エースサポートの対決。

JR九州Aは決勝までの2試合をオール一本勝ちで勝ち上がり、抜群の安定感を示す。一方、日本エースサポートも大将・畠村を軸に無敗で決勝に駒を進めてきている。

先鋒戦。JR九州Aの野関は左、日本エースサポートの小島は右のけんか組手。開始30秒、野関が技に入ろうとするところを小島が大内刈に入り、そのまま浴びせ倒して一本。JR九州Aは思わず誤算。

中堅戦。JR九州Aの只野は左、日本エースサポートの松岡は右のけんか組手。この両者は昨年も決勝戦で対決、そのときは只野が勝利を収めている。只野は組手で優位にたち、足技、得意の体落で只野が攻める。これに対し、松岡は技らしい技が出ないまま、指導3が累積、只野の僅差優勢勝ち。勝負の行方を大将戦に託す。

大将戦。ともに右組手、重量級同士の対戦、体格はJR九州Aの井上が若干優る。井上、盛んに払腰に入ろうとするところを畠村もそれを読みきりしのいでいたが、2分を過ぎるころ、ついに井上、畠村の背中を右手でもって、強引に巻き込めば、畠村もたまらずついていき、有効となる。井上、そのまま袈裟固めに入り一本、優秀を決める。

両者ともに実力は伯仲しているが、JR九州Aの常に攻めにいく積極性が勝負を分けた感がある。この気持ちを失わない限り、当分はJR九州の覇権が続きそうな予感を与える決勝戦であった。

[準決勝 第1試合]

JR九州A	3	-	0	日本生命
(先鋒)	野関 晴菜	2段	○	縦四方固
(中堅)	只野真梨枝	3段	○	縦四方固
(大将)	井上 愛実	3段	○	払 腰

[準決勝 第2試合]

日本エースサポート	2	-	0	樽谷塾
(先鋒)	小島 美穂	3段	○	優 勢
(中堅)	松岡 瞳	3段	○	引 分
(大将)	畠村 亜希	4段	○	横四方固

[決勝戦]

JR九州A	2	-	1	日本エースサポート
(先鋒)	野関 晴菜	2段	○	大内刈
(中堅)	只野真梨枝	3段	○	僅 差
(大将)	井上 愛実	3段	○	袈裟固



先鋒戦 日本エースサポート・小島選手が先取



女子の部優勝のJR九州Aチーム



大将戦 JR九州A 井上選手が払込みに入る

大会成績一覧表

団体	優 勝	準 優 勝	第 3 位	
			ダイコロ	九州電力
第一部	旭化成A	新日鐵住金		
第二部	九電工	日本エースサポート		
第三部	新日鐵住金	日本エースサポート	JR九州	OGAWA警備
女子の部	JR九州A	日本エースサポート	日本生命	樽谷塾

男子 第二部

九電工が日本エースサポートとの接戦を制し初優勝を果たす。

昨年準優勝の日本エースサポートが若手中心のチーム編成で、無失点で決勝戦に勝ちあがる。一方、昨年は日本エースサポートに涙を飲んだ九電工は、中量級を軸に手堅く勝ち進み決勝に駒を出すため。

先鋒戦。小兵の日本エースサポートの澤田は、上背のある九電工の畠中に堂々と組み合い、優勢に試合を進め、引き分ける。

次鋒戦。日本エースサポートの塩野、九電工の森、中量級同士の対戦。やや体格に勝る森、塩野を攻めて、3分過ぎには払腰で塩野を宙に浮かせるが、塩野、何とか腹這いに逃げる。森、その後も攻勢を続け終了間際に袖釣込腰で有効を奪い、九電工、先取点をあげる。

中堅戦。日本エースサポートの宮原、体格にまさる九電工の波多江に対し、開始32秒、左内股で有効を奪う。波多江、これを取り返さんものと、内股、背負投で反撲を試みるが、一歩及ばず時間切れ、日本エースサポート、試合を振り出しに戻す。

副将戦。日本エースサポートの大野、九電工の石橋、ともに軽量級の対戦。開始32秒、右組みの石橋、座り込みながら左の一本背負投にはいれば、大野は体をそらして頭で体を支えようとするが、石橋を預ければ大野は背中をたたみにつけて一本となる。

火の一本背負投が勝負を決めた。九電工は初優勝、石橋の電工石が勝負を決めた。日本エースサポートは昨年に引き続き決勝で涙を飲んだ。

男子二部優勝の九電工チーム

[決 勝 戦]

九 電 工 2 - 1 日本エースサポート

(先鋒)	畠中 勝尋	3段	引 分	澤田 涼	4段
(次鋒)	森 貴顕	3段	⊖ 優 勢	塩野 幸平	3段
(中堅)	波多江純平	3段	⊖ 優 勢	宮原 宏樹	3段
(副将)	石橋 祐哉	4段	○ 背 負 投	大野 風暉	3段
(大将)	中島 大勝	3段	引 分	鳥居 智男	6段



岡林賞受賞
JR九州Aの井上愛実選手



銅賞受賞
旭化成の土屋潤選手



龍村賞受賞
新日鐵住金の小林真也選手



米澤賞受賞
九電工の石橋佑哉選手



新人賞松本賞(女子)
JR九州Aの井上愛実選手



新人賞松本賞(男子)
日本エースサポートの三浦健寛選手

【優秀選手】

男子第一部最優秀選手：銅金賞
女子最優秀選手：岡林賞
男子第二部最優秀選手：米澤賞
男子第三部最優秀選手：龍村賞

土屋 潤 (旭化成A)
井上 愛実 (JR九州A)
石橋 佑哉 (九電工)
小林 真也 (新日鐵住金)

新人賞：松本賞 (男子1名)
新人賞：松本賞 (女子1名)

三浦 健寛 (日本エースサポート)
井上 愛実 (JR九州A)

奨励賞：(第二部一本賞)

松宮 広 (ひらた整骨院クラブ)
木村 元太 (日柔請求サービス)
鳥居 智男 (日本エースサポート)
石橋 佑哉 (九電工)

優秀選手

男子第一部

増済 樹 (旭化成A)
百瀬 優 (旭化成A)
赤迫 健太 (新日鐵住金)

男子第二部

森 貴顕 (九電工)

中島 大勝 (九電工)

智男 (日本エースサポート)
高喜 (新日鐵住金)

男子第三部

豊田 純 (日本エースサポート)
佐藤 鉄馬 (日本エースサポート)

只野 真梨枝 (JR九州A)

畠村 亜希 (日本エースサポート)

小島 美穂 (日本エースサポート)

女子の部

男子第三部

新日鐵住金が日本エースサポートを下し2年ぶりの優勝を果たす。



中堅戦 新日鐵住金・小林選手が内股で優勝を決める

[準決勝 第1試合]

JR九州 1 - 2 新日鐵住金

(先鋒) 奈須 康造 2段 扱 腰 ○ 酒井 高喜 3段
(中堅) 古園井新成 3段 ● 僅 差 後藤 大夢 4段
(大将) 植山 恵介 2段 肩 固 ○ 小林 真也 3段

OGAWA警備 0 - 2 日本エースサポート

(先鋒) 小川 貴則 4段 引 分 三浦 健寛 4段
(中堅) 立花 将司 3段 大内 刈 ○ 豊田 純 2段
(大将) 片淵 一真 3段 優 勢 ⊖ 佐藤 鉄馬 3段

[決勝戦]

新日鐵住金 2 - 1 日本エースサポート

(先鋒) 酒井 高喜 3段 ⊖ 優 勢 三浦 健寛 4段
(中堅) 後藤 大夢 4段 優 勢 ⊖ 豊田 純 2段
(大将) 小林 真也 3段 ○ 内 股 佐藤 鉄馬 3段



男子三部優勝の新日鐵住金チーム

祝 内閣総理大臣杯争奪 第55回 西日本実業柔道団体対抗大会 尼崎市市制100周年記念大会

[広告・賛助企業、団体]

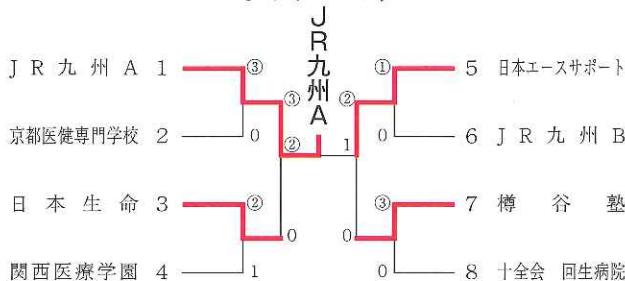
旭化成(株) アーバンサービス(株) 阿比野建設(株) (公財)尼崎市スポーツ振興事業団 (有)伊志嶺商会 上野共同法律事務所 エフ・アール・ピーサービス(株) (株)エフエスユニマネジメント (株)エル・スエヒロードサービス 大阪ガス(株) (株)大阪マーチャンダイズ・マート (株)大林組 (株)鍛冶田工務店 関空運輸(株) 関西医療学園専門学校 関西電力(株) (株)関西ブライダル (株)関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ 関電不動産(株) 北浜柔道塾 九州電力(株) 九州旅客鉄道(株) (株)九電工 九電テクノシステムズ(株) 京都タワーホテル(株) 京都医健専門学校 近畿通関(株) (株)きんでん (株)クラレ (株)KSI (株)ケイ・オプティコム 京阪園芸(株) 京阪ビルテクノサービス(株) 京阪バス(株) グリーンホスピタルサプライ(株) 医療法人光仁会 向洋運輸(株) コマツリフト(株) 小山(株) (株)コヤマホールディングス 堺柔道協会 (株)佐々木冷菓 サラヤ(株) SANDYS(株) シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング(株) 医療法人十全会 十全会病院 学校法人常翔学園 新日鐵興和不動産(株) 新日鐵住金(株) 広畑製鐵所 センコー(株) 全国農業協同組合連合会 大金建設(株) ダイコロ(株) 大日本電装(株) 大宝運輸(株) 都市環境開発(株) 東京六大学柔道部関西OB会 東レ(株) (株)戸高鉱業社 (株)ナニワ ナニワ商事(株) (株)西宮末広 (株)西原衛生工業所 (株)日経サービス (株)日建設計 日新被服(株) (株)ニッセイ保険エージェンシー 日本エースサポート(株) 日本電化工業(株) 日本トレクス(株) 日本被服工業(株) (株)初田製作所 初田防災設備(株) 早川織維工業(株) パラマウントベット(株) 阪和鳳自動車学校 阪和建設工業(株) 東淀舗道(株) 不二建設(株) (株)フセナガセ ホクシン建設(株) ホテル京阪天満橋 (株)前田組 ミズノ(株) 三井不動産(株) 三菱レイヨン(株) 宮野医療器(株) (株)ミユキ (株)安川電機 八千代電設工業(株) (株)吉田企画 淀川食品(株) 隆祥産業(有) ワイエスフード(株)

[個人賛助]

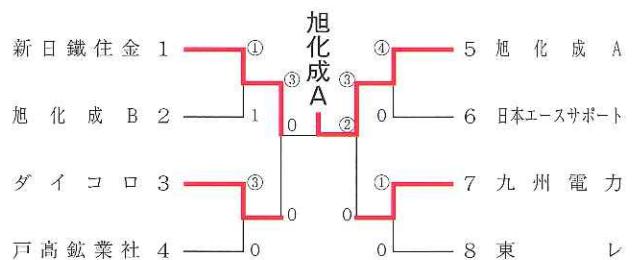
岩田 兵衛・上野十次郎・浦地哲夫・大塙裕藏・小笠原和俊・岡端 武・小原新蔵・古長公良・小山彰夫・白土正介 田淵貴重・柘植陽三・津田 剛・中嶋二三男・橋本 等・森 和義・横山敏登

各部勝ち上り表

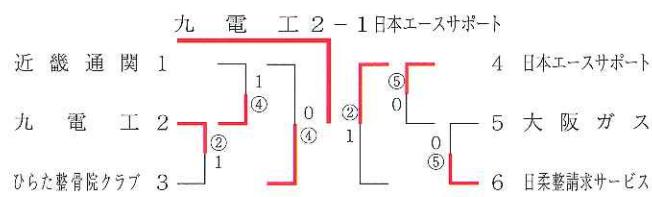
女子の部



男子第一部



男子第二部



男子第三部

